

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 5 月 31 日

事業所名 ぽんぽこはうす2

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	75%	25%	利用定員によりスペースを工夫している	落ち着いて取り組める環境作りをする
	2	職員の配置数は適切である	50%	50%	ミーティングで話し合い工夫している	適切な場所に人員配置をする
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	使用目的により、部屋の使い分けが出来ている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	毎日の清掃と子どもの特性に見合った環境作りを心掛けている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	ミーティングで話し合いをしている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	業務改善は心掛けている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	50%	50%		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	25%	75%		全職員に情報共有できるようにする
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	75%	25%	委員会の活動で研修等実施している	回数を増やす
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	定期的なモニタリングを行っている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	75%	25%	使用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	支援に疑問、不安等感じたときはガイドラインを読み返している	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	支援計画書の見直し	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	話し合いで相談しあっている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	月ごとに見直し、変更している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	子どもの状況に応じて組み合わせている	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	75%	25%	毎日のミーティングで話し合い、共有している	
	18	100%	0%	その日に出来ない時は各自業務日誌に目を通し、翌日の活動前のミーティングで共有している	
	19	100%	0%	毎日の業務日誌、活動記録で改善に繋げている	
	20	100%	0%	定期的なモニタリングを行っている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	100%	0%	マネージャーが参加し、会議内容の課題等共有している	
	22	100%	0%	行っている	
	23	50%	50%	一部の関係機関とは連携している	医療的ケア児を受け入れる際には事前に体制を整える
	24	25%	75%	協力医療機関とは体制を整えている	医療的ケア児を受け入れる際には事前に体制を整える
	25	75%	25%	共有している	
	26	75%	25%		
	27	100%	0%	助言は受けている	
	28	25%	75%	公園で遊ぶ	地域交流ができるように外に出る機会を増やす
	29	100%	0%	参加している	
	30	75%	25%	送迎時に伝え合っている	
31	75%	25%	行事予定表活用し記載している		
32	75%	25%	契約時に行っている		
33	100%	0%	同意を得ている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	定期的に行うモニタリングや相談予約などを行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		保護者様の要望があれば取り入れる
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	迅速に対応し、貴社の他事業所と共に共有している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	行事予定表や情報をプリントしたものを発信している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	0%	0%	SNSに記載する写真など何度もチェックしている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	その子どもにあった伝達の方法を配慮している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	25%	75%	児童が作成した物品の販売会	行事があることを宣伝する
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	各委員会がマニュアルを作成し、全体会議で職員に発表。職員より保護者様に通達している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	委員会が中心となり、全体会議、毎年避難訓練を行っている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	保護者様より情報の提供をいただき、確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者様を通して確認対応している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ミーティングを行い、共有している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	委員会が中心となり、研修、会合を行っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	組織的に決定している事項を契約時に説明している	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。